

6 - 1 岐阜県東部の活断層周辺における地殻活動観測結果(2002年5月~2002年10月)

Observation of Tectonic Activities around the Active Faults in Eastern Gifu Region (May, 2002-October, 2002)

産業技術総合研究所

Geological Survey of Japan/AIST

1. 観測概要

産業技術総合研究所は長野県西部地域(王滝地域), 跡津川断層沿いの宮川・跡津川において地殻活動総合観測設備を設置している(第1図)。王滝地域では2000年5月7日より歪, 傾斜計が故障のため観測不可能となっている。

宮川: 跡津川断層のロック部に位置する。深度約300mの坑井を掘削し, 坑底に3成分ひずみ計・高感度地震計(1 Hz, 3成分速度計)を設置。また, 深度256.78~267.66mの滞水層にストレーナーを設置し, 地下水位の計測も行っている。高周波での地震計の共振がないよう, 計器を改良した。計器中に, 歪と独立に「体積温度計」を組み込んだ。

跡津川: 跡津川断層のクリープ部に位置する。坑道内に深度約50mの坑井を掘削し, 坑底に3成分ひずみ計を設置。また, 地下水位の計測も行っている。計器中に, 歪と独立に「体積温度計」を組み込んだ。

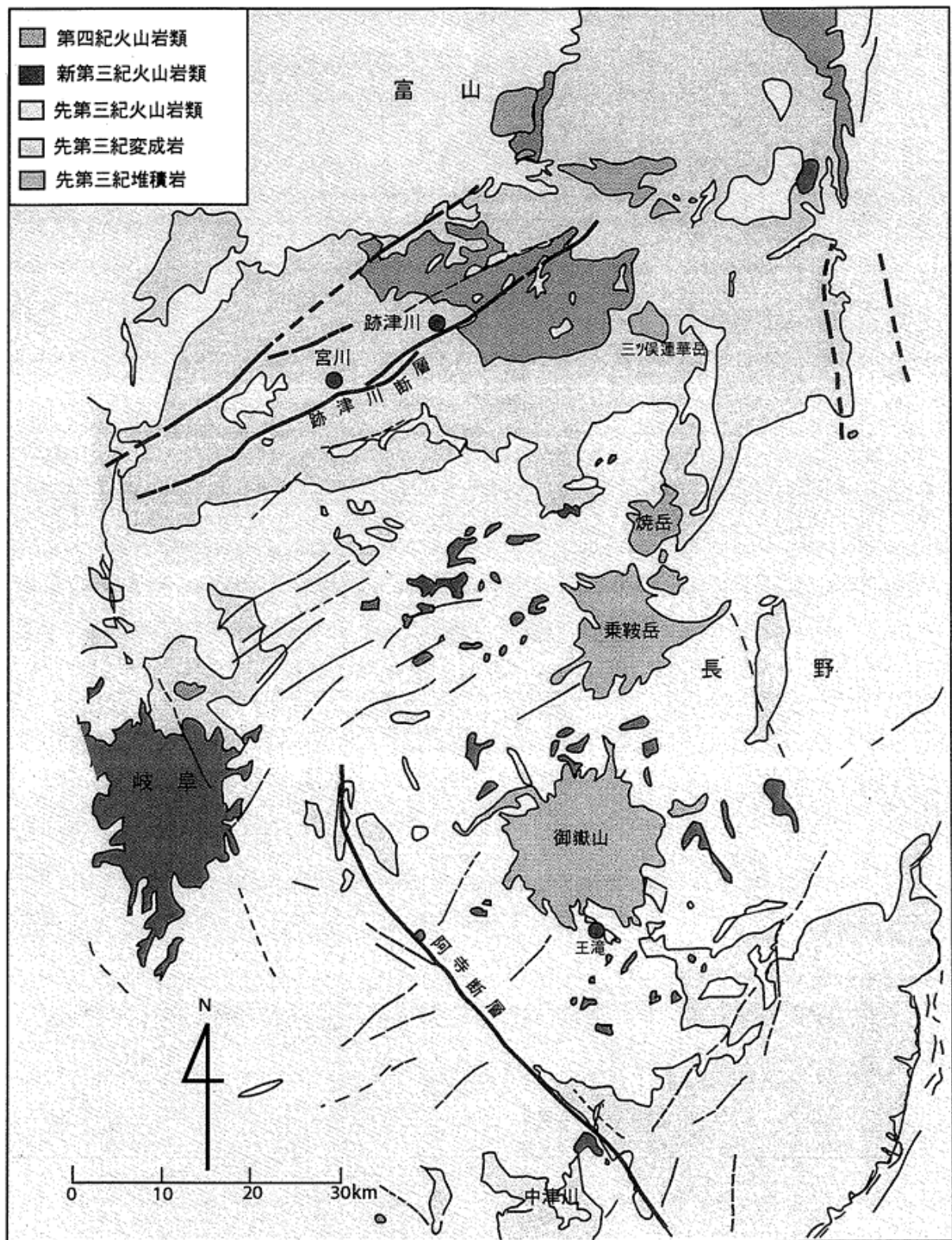
2. 観測結果概要

宮川(第2図): 水位, 歪計は潮汐変化を書く。降雨の影響が大きい。特記事項なし。

跡津川(第3図): 水位, 歪計は潮汐変化を書く。降雨の影響が小さい。2002年4月初旬から歪3成分で約 $1E-7$ /日の急速な伸び, 歪計内の温度が約0.5m/日で降下していたが, この異常変動はほぼおさまった。

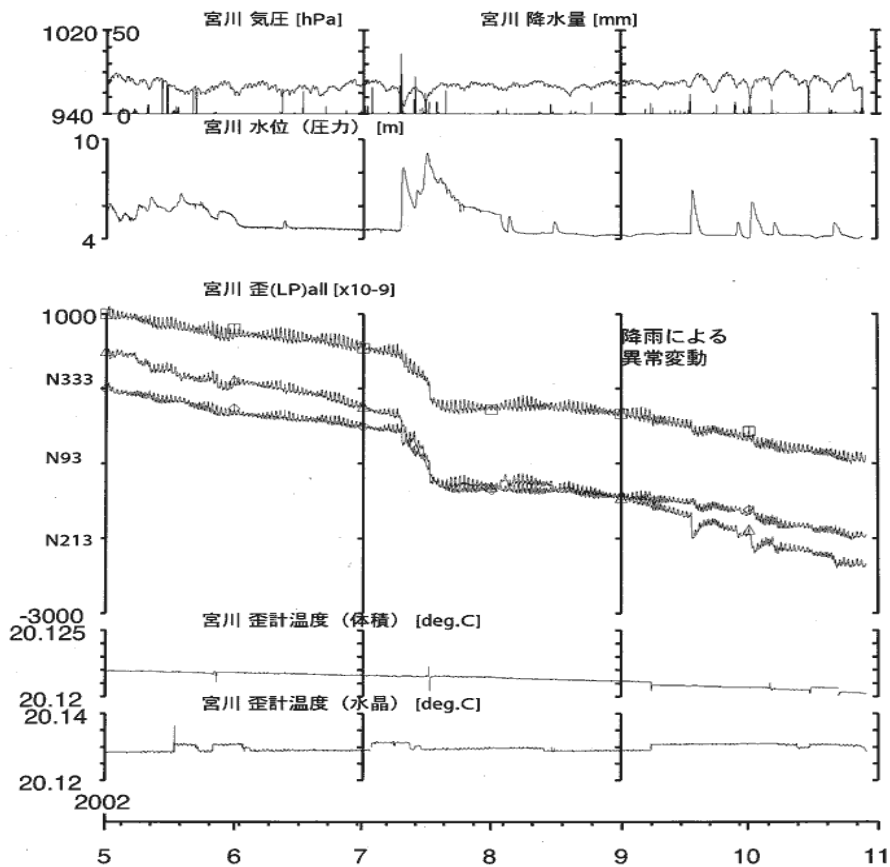
跡津川(第4図): 3年9ヶ月間の記録。図のように2002年4月からの伸びの変動は観測開始以来初めての現象であった。

(伊藤久男, 桑原保人, 今西和俊)



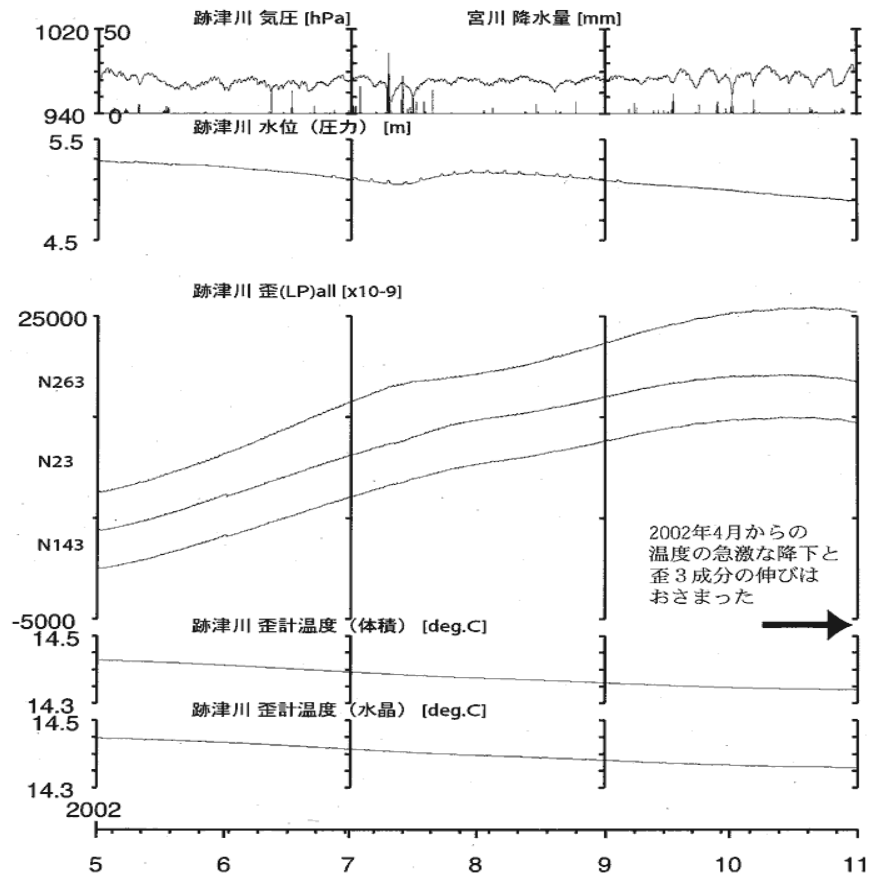
第1図 長野県西部地域・王滝地域，跡津川断層沿いの宮川・跡津川における地殻活動総合観測点位置
 Fig.1 Location map of the observation boreholes at Ohtaki in Naganoken-Sebu region, Miyagawa and Atotsugawa at the Atotsugawa fault.

宮川歪等観測結果 (時間値)
(2002/05/01 00:00 - 2002/11/01 00:00)



第2図 宮川における歪観測結果 (6カ月間)
Fig.2 Results of strain meters at Miyagawa (for 6 months).

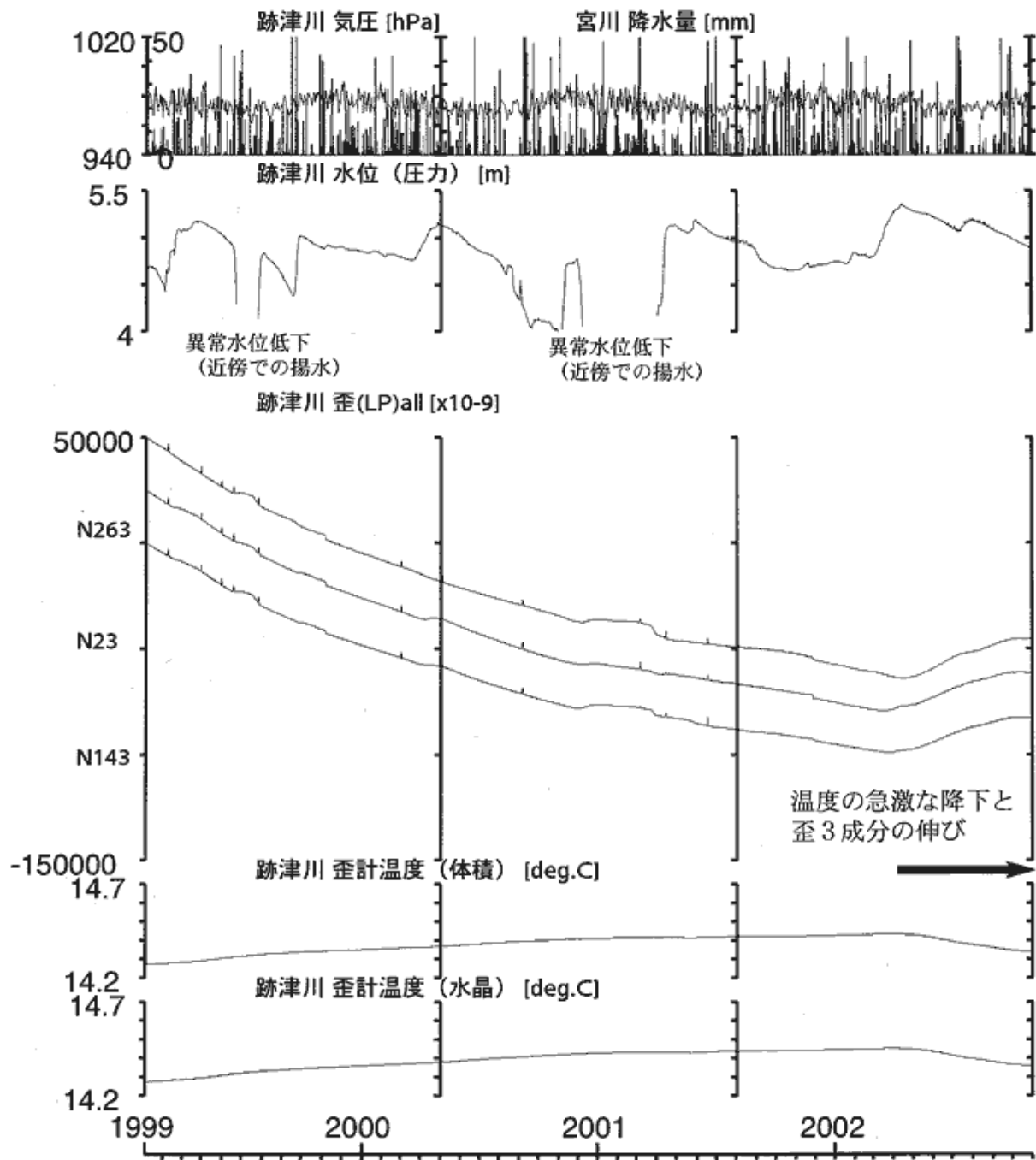
跡津川歪観測結果 (時間値)
(2002/05/01 00:00 - 2002/11/01 00:00)



第3図 跡津川における歪観測結果 (6カ月間)
Fig.3 Results of strain meters at Atotsugawa (for 6 months).

跡津川歪観測結果（日値）

(1999/02/01 00:00 - 2002/11/01 00:00)



第4図 跡津川における歪観測結果（3年9カ月間）

Fig.4 Results of strain meters at Atotsugawa (for 3 years an 9 months).